

2022

国語

〔帰国生入試〕

注 意

1. 試験時間は、8：50～9：40の**50分**です。
2. 問題は □・□ の2つです。
3. 解答用紙に、受験番号と氏名を書きなさい。
4. 解答はすべて**解答用紙**に書きなさい。
5. 先生の指示があるまで、問題用紙をあけてはいけません。
6. 問題についての質問はうけつけません。
7. 試験が終わったら、解答用紙を裏返しにしておきなさい。

〔一〕 次のカタカナの文章に句読点をほどこし、漢字ひらがな交じりの文章に書きかえなさい。(漢字で書けるものは全て漢字で書きなさい)

イマオオクノヒトガオツシヤッテイルヨウニワカイヒトノニホンゴガミダレテイマスソレハモチロンジツデスガジツハニホンジンゼンタイガコノジュウネンライホントウニダイジナモノガナニカトイウコトヲミウシナッテイルトオモウノデスコトバニオイテモソウデスシシヨクセイカツデモセイジデモケイザイデモスベテノブンヤデナニヤッテイイノカワカラナイトイウジョウタイデス

〔二〕 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本人の「わたし」は、アイルランド人の夫(配偶者)と一人息子とイギリスに暮らしている。息子は裕福な家庭の子どもが通う小学校に通っていたが、中学校は近所の学校に通うことになった(白人労働者階級の子どもが多く、荒れた学校と言われていた「元底辺中学校」。中学に入学してすぐに、息子はミュージカル「アラジン」(ディズニー映画が元になっている)のランプの精「ジーニー」役を務めることになった。

それから二週間ぐらい過ぎた頃、今度は、息子がアラジン役のダニエルと喧嘩をして帰ってきた。

「彼は(注①)レイシストだ!」

と、たいそう(注②)激している様子なので、

「何か言われたの?」

と聞いたたら、息子は答えた。

「僕じゃなくて、黒人の子のことで、ひどいこと言った。移民に対する差別がひどいんだ、彼は」

「だけど、ダニエルも両親は移民でしょ?」

「そうなんだよ。それなのに、どうしてあんなことを言えるんだろう」

息子によれば、ダニエルは、黒人の少女がなかなか振り付けを覚えられないのを見て、

「ブラックのくせにダンスが下手なジャングルのモンキー。バナナをやったら踊るかも」と陰口をたたきながら笑っていたという。

(中略)

「無知なんだよ。誰かがそう言っているのを聞いて、大人はそういうことを言うんだと思つて真似しているだけ」

「つまり、バカなの？」

(注3) 忌々しそうに息子が言った。

「いや、頭が悪いってことと無知ってことは違うから。知らないことは、知るときが来れば、その人は無知ではなくなる」

わたしがそう言うと、息子はちよつと考えるような顔つきになり、黙つて自分の部屋に入つて行つた。

(中略)

白人英国人が圧倒的に多い学校に通わせると決めるとき、息子が彼らに差別されるかという心配はしていたが、人種差別的な移民の子と衝突するという構図はあまり考えていなかった。そもそも、白人の英国人が大多数の学校で、東洋人の顔をしたうちの息子とハンガリー移民の子でもあるダニエルが主要キャラクター2人の役に選ばれたのも、学校側の(注4)多様性促進ポリシーの一環なのかもしれないと思えば、①なんとも皮肉な構図ではある。

ア・ホール・ニュー・ワールド

二夜にわたつて元底辺中学校の大ホールで上演される『アラジン』は、1枚5ポンドのチケットがオンライン発売開始一週間で完売するほどの大人気だった。が、**X** 本番の数日前、ドレスリハーサルから帰つてきた息子が言った。

「ダニエル、今になって声が出なくなっちゃって、すごいつらそう」

聞けば、長身で大人っぽいアラジン役のダニエルは、すでに(注5)変声期に入っているようで、魔法のじゅうたんに乗って歌う見せ場の曲、「ア・ホール・ニュー・ワールド」の(注6)キーが高すぎて歌えないらしい。じゃあキーを下げればいいじゃないかという話だが、この歌はヒロインのジャスミンと一緒に歌うことになっていて、音程を下げ過ぎると今度はジャスミン役の女の子が歌えなくなってしまうので、

Y

まで下げてはあるが、それでもダニエルは歌唱に

1

苦

2

苦しんでいるそうだ。

「他人の歌やダンスをへたくそだと言ってバカにしまくっていた彼が、本番前になって歌えない状態になっちゃった」と息子が言うと、配偶者が満足そうに言った。

「そうやってな、他人にしたことは、ぜんぶ自分に返ってくるんだよ」
「そういえば、彼とは、仲直りしたの？」

とわたしが聞くと、
「するわけないじゃん」

と息子は答えた。

「彼があまりにもつらそうだから、『僕が舞台の陰で代わりに歌ってもいいよ、彼は口パクしてたらいいんじゃない？』って先生に提案したら、先生もそれはいいアイデアだって言ったんだけど、ダニエルが断ったんだ。『そんな春巻きをのどに詰まらせたような東洋人の声で歌われるのは嫌だ』って」

② 「……」

どうも敵はコテコテのレイシズム原理主義者のようであった。

そんなこんなで迎えた『アラジン』の初日、わたしと配偶者は中学校の大ホールの客席に腰かけていた。保護者のみならず、おじいちゃんやおばあちゃん、親戚一同で来ている家庭もあって、開幕15分前にはすでに会場は満席だった。ステージと客席の間には音楽部の生徒たちが楽器を手はずらりと腰かけていて、長身の男子生徒が指揮台の上に立ち、まるで本物のミュージカルのオーケストラのようだ。完売したチケットの売り上げは、ミュージカル部の資金となり、次の公演のために使われるそうだ。

そうした資金があるからだろう、衣装もセットもいやに本格的で、子どもたちの歌や演技も、演劇学校の発表会レベルにまで仕上がっていた。公立の中学校でここまでやる場所はちよつとないだろう。9月の入学当初から2か月半、放課後に残ってリハーサルを繰り返すだけでなく、週末も学校に行って練習したa**甲斐があつた**というものである。

うちの息子も全身ブルーで金色のラメがきらきら光る派手なジーニーの衣装を着せられ、来る日も来る日も**bうんざりする**ほど聞かされた歌を得意そうに大声で歌い、踊ったり跳ねたりして、けっこう笑いを取っていた。

人前で喋るのは得意で**c物怖じしない**タイプだし、先生の期待に応えようと努力する「いい子」だから小学校の学芸会でもメインキャラばかり任されてきたが、**③ステージ上の彼は、**

いつもの単に芸達者な子どもとは少し違うような気がした。

ジーニーという役じたいが(注9)破天荒なキャラではあるが、自分とはまったく違う人物になることを心から楽しんでるように見えたのだ。他の出演者たちとも、見事な呼吸で助け合っていて、喧嘩しているアラジン役のダニエルとでさえ、2人だけの長丁場の場面ではタイミングを計り合い、相手が間違うとアドリブでそれをカバーし合っている。

息子の出演がひとまず終わると、アラジンとジャスミンが2人でじゅうたんに乗って歌う見せ場のシーンになった。

ダニエルが(注10)ソロで歌い始めたが、声がまったく聞こえない。息子が言っていたとおり、変声期で高い声が出ず、一オクターブ低い音で歌っているために声が低すぎて、懸命に歌っている様子なのだが、オーケストラの音にかき消されてしまっている。本人も自分の声が聞こえないのだろう、ひどく混乱している様子だ。

それに気づいた音響担当者がマイクの音量を急に上げたため、キーンと(注11)ハウリングの音がした。もはやアラジンどころかジャスミンの声も聞こえない。観客がざわつき始めた。

突然、ハウリングの音に戦いを挑むような、半ば怒鳴っているような大声が響いてきた。

息子の声だ。息子が舞台裏で「ア・ホール・ニュー・ワールド」を歌っている。

音響担当者があわててマイクの音量を下げるとハウリングの音が止んだ。ダニエルは何事もなかったかのようにハンサムに微笑みながら両手を広げて口パクを始めた。

「④先生にやれって言われたのか？」

帰り道、配偶者が訊くと息子は言った。

「いや、僕がやるうかって先生に言っ、マイクを持ってきてもらった」

「でも、アラジンの野郎は春巻きの声は嫌だったんじゃないのか」

「そんなの関係ないよ。二か月も稽古してきたのに、あのシーンが台無しになるとみんなの努力が無駄になる」

息子はそう言いながらわたしたちの前を歩いていった。

「それに、彼はもう春巻きの件はどうでもよくなったんだと思うよ。僕に『サンクス』って言ったから。『明日もよろしく』って涼しい顔で言っていた」

息子はポケットから携帯を出していじり始めた。

「着替^きえてたら、どうい^うわけか僕の携帯の番号まで聞いてきたよ」

「お前、教えたのか？」

「うん。教えない理由はないから。それに、**⑤無知な人**には、知らせなきゃいけないことがたくさんある」
「は？」

と配偶者は訊き返したが、息子はそれには答えなかった。

ある意味おそろしいこともあるが、^(注1) プレ思春期の子どもの吸収力はスポンジのようだ。

「ダニエルと僕は、最大の^(注1) エネミーになるか、親友になるかのどちらかだと思う。得意なことが似ているからね」

「よっちよ前のことを言う息子の背中を眺^{なが}めながら、わたしは夜道を歩いていて、何かの楽器を背負った上級生が、
「よくやったな、ちっちゃいの！」

と息子に声をかけて自転車で通り過ぎて行った。

息子は笑いながら親指を突^つき上げる。

⑥なんでもない路上の風景の隙間^{すきま}から、来たるべきア・ホール・ニュー・ワールドが垣間^{かきま}見えた気がした。

(ブレイデイみかこ『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』による)

(注1) レイシスト…人種差別主義者。

(注2) 激している…おこつて興奮している。

(注3) 忌々しそ^うに…くやしくて腹立たしそ^うに。

(注4) 多様性促進ポリシー…多様性を認める考えをおしすすめるための方針。

(注5) 変声期…声変わりの時期。

(注6) キー…音楽の調のこと。ここでは、音の高さを変えて歌うことを指している。

(注7) ロパク…歌に合わせて声を出さずに口だけ動かすこと。

(注8) レイシズム原理主義者…人種差別を自分の考えの基本において生活をする人。

- (注9) 破天荒…本来は、今までだれもしなかったことをすること。ここでは、ごうかい豪快で とっぴょうし突拍子もない様子を表している。
- (注10) ソロ…ひとりで歌うこと。
- (注11) ハウリング…音が重複して鳴り響くこと。
- (注12) プレ思春期…思春期になる手前の時期。
- (注13) エネミー…敵。

問一 波線部 a～c の言葉の意味としてもっとも適当なものを次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。

a 甲斐があった

- ア 取り組んだことで学ぶことがあった
- イ 取り組んだだけの効果があった
- ウ 取り組んでも無駄であった
- エ 取り組みそのものに意味があった
- オ 取り組みじたいが評価された

b うんざりする

- ア とてもつかれる
- イ 気分が落ちこむ
- ウ からだが重くなる
- エ すっきりいやになる
- オ ひどく腹を立てる

- c 物怖じしない
- ア 物事に対して恐れをいなく
 イ 物事の道理をよく考えない
 ウ 物事に対して恐れずに立ち向かう
 エ 物事の道理をよく理解する
 オ 物事に対して心から楽しむ

問二 傍線部①「なんとも皮肉な構図ではある」とありますが、そう考えたのはなぜですか。その説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

- ア 白人が多い学校で、多様な人々の受け入れを目的に選ばれたはずの二人の間でいさかいが起こっているから。
 イ 白人が多い学校で、白人以外の生徒からも東洋人であるというだけで息子が差別を受けてしまっているから。
 ウ 白人が多い学校で、ハンガリー移民の生徒は受け入れられて東洋人の息子だけは受け入れられずにいるから。
 エ 労働者階級の生徒が多い学校で、白人と黒人の対立が激しいために息子が主役をせざるを得なくなったから。
 オ 労働者階級の生徒が多い学校で、裕福な家庭のダニエルと息子が居心地の悪い思いをしてしまっているから。

問三 空欄 X と Z に入る言葉を次の中からそれぞれ選んで、記号で答えなさい。ただし、同じ記号を二度選ぶことはできません。

- ア もともと イ ますます ウ ぎりぎり エ いちいち オ いよいよ

問四 空欄 1・2 に入る適当な言葉をそれぞれ漢字一字で答えて、四字熟語を完成させなさい。

問五 傍線部②「……」とありますが、このときの「わたし」の気持ちを自分で考えて書きなさい。

問六 傍線部③「ステージ上の彼は、いつもの単に芸達者な子どもとは少し違うような気がした」とありますが、このときの「息子」はどのような様子だったと考えられますか。その説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア いつものように先生に言われた通りに忠実に演ずるだけでなく、アドリブを交えながら自分の好きなように演じている。

イ 単に先生に言われてそつなく役をこなそうとしているのではなく、ジーニーという人物になりきり演ずることを楽しんでいる。

ウ 先生の期待にこたえて上手く演じようとするのではなく、共演者や親の期待にも応えようと一生懸命に努力している。

エ 今までの先生のイメージを守ろうとするのではなく、破天荒なジーニーを演じることで優等生だった自分を変えようとしている。

オ 先生が思っているただの芸達者でなく、歌や演技に関しての才能が本当にあることを周囲の人々に認めてもらおうとしている。

問七 傍線部④「先生にやれって言われたのか？」とありますが、ここではどのようなことを「やれって言われた」話をしているのですか。その説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア ダニエルに優しく親切に接すること。

イ ダニエルの発言を許してあげること。

ウ ダニエルの代わりに舞台上で歌をうたうこと。

エ ダニエルの代わりに舞台裏で歌をうたうこと。

オ ダニエルに対して大声を出して戦いを挑むこと。

問八 傍線部⑤「無知な人」とありますが、ここでの「無知な人」とはどのような人を指していますか。八十字以内で説明しなさい。

問九 傍線部⑥「なんでもない路上の風景の隙間から、来たるべきア・ホール・ニュー・ワールド（まったく新しい世界）が垣間見えた気がした」とありますが、ここでの「わたし」の思いの説明としてもっとも適当なものを次の中から選んで、記号で答えなさい。

ア ダニエルとのいさかきも解決し、路上で上級生から祝福の言葉を受けたことを通して、息子のこれからの中学校生活が思っていた以上に充実じゅうじつしたものであることを確信している。

イ 白人が多い学校にあえて入学させたことに後悔こうかいを抱いだいてもいたが、演劇を見事に成功させ、演劇の才能を開花させた息子に対してこれからの活躍かつやくを期待している。

ウ イギリスの元底辺に位置していた中学校の教育現場で、教員が演劇を通して多様性を受け入れる指導をしていることに感銘かんめいを受け、これからの学校生活を楽しみにしている。

エ 日本とは異なるイギリスの学校で起きた出来事を通して、東洋人に対する人種差別の問題は簡単にはなくならないだろうが、それでも息子には強く生きてほしいと願っている。

オ 世界のニュースになるはずもない公立中学校の演劇という場で、若い世代が人種差別や多様性の問題をやすやすと乗り越こえていく様子を見て、これからの世界に希望を抱いている。

問十 本文では「息子」とダニエルとの関わりが書かれています。異なる国籍こくせき、民族や人種との関わりの中で起こる問題についてどのように考えるか、自分の意見を書きなさい。まず自分が実際に体験したことや見たり聞いたりしたことを具体的に述べてから、それを踏ふまえて自分の意見と、そのように考える理由を書きなさい。

問十	問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
<table border="1" style="width:100%; height:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:10%; height:20px;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																																																																																																																										<table border="1" style="width:100%; height:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:10%; height:20px;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																																																																																																																										<table border="1" style="width:100%; height:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:10%; height:20px;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																																																																																																																										<table border="1" style="width:100%; height:100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width:10%; height:20px;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td><td style="width:10%;"></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td style="height:20px;"></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>																																																																																																																									

国語

解答用紙

注意
 一字制限の問題では、句読点も一字として数えます。

受験番号		フリガナ	
		氏名	

得点	
----	--

【解答】

問一 a・イ b・エ c・ウ ……3点×3

問二 ア ……4点

問三 X・オ Y・ウ Z・ア ……2点×3

問四 1・四(苦) 2・八(苦) ……完答3点

問五 声が出ずに苦しそうにしているから、息子は親切に代役を提案したにも関わらず、ダニエルが息子にあまりにも杓子定規な東洋人を侮蔑する言葉をはいたことに呆れている。(78字) ……8点

声が出ないダニエル① かわいそうに思う息子① だから代わりに歌おうとする①

なのにダニエルは差別的な言葉② を言って拒絶① 母は呆然②

問六 イ ……4点

問七 エ ……4点

問八 自分とは異なる人種や国籍の人々と実際に接することもなく、世間や近い人の考えを鵜呑みにしてそのまま受け入れて、自分の考え方にしたり、言動を行ったりする人。(76字) ……8点

自分とは異なる人々とは無関係③ 他の人の考えを鵜呑み③ 自分の行動を決定②

問九 オ ……4点

問十 ……30点

具体的な出来事 9点(特に良い9点 良い8点 普通5点 悪い2点)

自分の意見 9点

その理由 9点

文章(文体・言葉遣い・誤字脱字など) 3点